

## (統合分野)

授業科目	在宅看護論演習	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.在宅における生活支援の方法を理解する。 2.在宅における医療管理を必要とする対象と必要とされる看護を理解する。 3.事例から対象に応じた看護について考えられる。			時間数	
				30	
				学 年	
				2	
				時 期	
					第2学期
回数	主 題	学習内容		授業方法	講師
1	1.在宅における看護過程の展開	1.在宅療養者の看護過程の展開 1) 在宅における看護過程の特徴 2) 在宅療養する対象を支える制度、社会資源の活用と工夫 3) 在宅看護における療養者とその家族への看護過程の展開		講義演習	教員
2 ～ 7		1.在宅療養者の看護過程の展開 1) 事例に対する看護の展開 (1) 情報の整理 (2) アセスメントの実際 (3) 援助計画の立案		講義演習	教員
8 9	1.在宅における医療処置のある対象への看護	1.在宅における PEG の管理の実際 1) 対象のアセスメント 2) トラブルの予測と予防 3) 家族への指導 4) 物品の応用		講義演習	教員
10				発表	
11 ～ 15	1.療養の場の再考の必要性とその支援・調整	1.療養の場の移行に伴う看護の実際 1) 医療機関における入退院時の連携 (1) 事例に対する退院支援と退院調整 ①退院支援と退院調整の実際 ②多職種連携の実際		講義演習	教員
評価方法	課題レポート 100点	テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践		